

# 会 議 録

## 1 会議名

板倉区地域協議会第2回地域活動支援事業審査基準検討部会

## 2 議題(公開・非公開の別)

### ・協議事項

(1) 平成29年度地域活動支援事業採択方針等(案)について(公開)

(2) 地域活動支援事業に係る課題及び改善策について(公開)

## 3 開催日時

平成29年1月17日(火) 午後6時～午後7時20分

## 4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 102会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者(傍聴人を除く)の氏名(敬称略)

・委員：平井達夫委員、新井清三委員、小林良一委員、長藤豊委員

・事務局：板倉区総合事務所 山岸総務・地域振興グループ長、嘉島地域振興班長、樋口主事(以下グループ長はG長と表記)

## 8 発言の内容(要旨)

### 【長藤豊委員】

・上野きみえ座長が欠席のため、司会進行をさせていただきます。

・協議内容は、「平成29年度地域活動支援事業採択方針等(案)について」と「地域活動支援事業に係る課題及び改善策について」である。

・まず、「平成29年度地域活動支援事業採択方針等(案)について」事務局の説明を求める。

### 【樋口主事】

・資料1により説明

**【山岸G長】**

- ・資料の修正だが、資料1-1の7ページ、「提案の募集開始」を平成28年度も併せて「提案の募集期間」に修正させていただく。

**【長藤豊委員】**

- ・ただいま説明いただいたが、質問・意見等がある方は発言願う。

**【山岸G長】**

- ・「料理を振る舞う場合等は、受益者負担とし、補助対象としない。」は厳しいか。しかし、「2回目以降は受益者負担を求める」となると市の方針より甘くなる。

**【小林良一委員】**

- ・寺野地区もだいごぜまつり等、色々なお祭りがあるが、自分たちで全部やっている。
- ・山部地区に補助金を出すなら、寺野地区も出してもらおうという声もある。
- ・補助を受ける団体が広がっていくことは、市の意思とはずれてきてしまうと思う。
- ・1回目はいいが2回目はだめだとするよりは、補助対象としないとはっきりさせた方が良くと思う。

**【長藤豊委員】**

- ・2回目というのは、どこから出てきた言葉か。

**【小林良一委員】**

- ・1回許したからである。

**【長藤豊委員】**

- ・平成28年度地域活動支援事業に関するQ&Aに、「食文化の伝承等に要する食材の購入費などは含める」とある。

**【山岸G長】**

- ・食文化の伝承等に要する食材の購入費と振る舞いは違う。
- ・大鍋は伝統料理ではないと思う。例えば、郷土料理のレシピづくり等が該当するのだと思う。

**【嘉鳥班長】**

- ・受益者負担を求めるとした場合、例えば200円かかるところを10円出せば負担したことになるのか、判断が非常にあいまいになる。

**【山岸G長】**

・対象にしないと決定すれば、事務局で事前相談時に、今年度から補助対象外になったと説明する。

**【嘉鳥班長】**

・今までの地域活動支援事業の中で振る舞いを行った団体は6団体である。補助金を使わずに行ったのは、国川夏まつり実行委員会だけで、その他の団体は補助金を使っている。

**【長藤豊委員】**

・他の区との整合もある。

**【山岸G長】**

・他の区では、認めているところもある。

**【小林良一委員】**

・板倉独自の方針が良い。

・はっきりしておけば、断りやすく、審議する必要もない。

**【平井達夫委員】**

・審査する時も、審査しやすい。

・市の方針でも規定されている。

**【小林良一委員】**

・「イベントで不特定多数に料理を振る舞う場合等は、受益者負担とし、補助対象としない。」でお願いします。

**【山岸G長】**

・了解した。

・募集期間はどうか。

**【嘉鳥班長】**

・4月1日、2日は土日であり、事務局が出勤するかについても相談したい。

**【長藤豊委員】**

・1日、2日は休日の受付だけで良いと思う。

**【山岸G長】**

・募集期間中、1日、2日に限らず土日はある。

**【長藤豊委員】**

- ・ 4月1日から良いと思う。
- ・ 締め切り日が9日なら月曜日1日空く。

**【平井達夫委員】**

- ・ 提出する方からしても、5月上旬に業者の見積りを取る者もいるため、見積りに合わせて修正するのに1日空ける必要がある。

**【委員】**

- ・ 賛成の声多数

**【山岸G長】**

- ・ 募集期間は、4月1日から5月9日で了解した。
- ・ 地域活動支援事業に係る課題及び改善策の中に、地域活動支援事業の周知が足りないという意見があり、団体の取り組みを広く知らせることもPRになるのではないかという中で、活動報告会で一般市民からも団体の活動や29年度の採択基準を聞いてもらってはどうかと思っている。
- ・ 去年は3月23日に地域協議会の前に勉強会で各団体から5分説明、2分質疑で話していただいた。
- ・ 実施するかも含めて検討願う。

**【小林良一委員】**

- ・ 地域活動支援事業の啓発活動か。

**【山岸G長】**

- ・ そうである。
- ・ どういうことが取り組めるのか皆さん分からないという話もあった。

**【長藤豊委員】**

- ・ 今まで事業名しか通知されていないので、内容は住民の方は分かっていない。

**【山岸G長】**

- ・ この間の地域協議会だよりで全事業の内容を3行ぐらいで書いてもらっている。それも活動支援事業の啓蒙にはなっていると思う。

**【小林良一委員】**

- ・ 一般の人から来てもらうのであれば、分かりやすいように、プロジェクターに写真を写して発表してもらってはどうか。

【長藤豊委員】

- ・そうすれば分かりやすいが、その準備を皆さんができるか。

【山岸G長】

- ・市民ホールで実施するのであれば、プロジェクターを使用することも考えられるが、去年のように代表3団体であれば丁寧な資料をプロジェクターに映せるが、11団体では、活動の写真だけ写して後は口頭で説明していただく等、簡素化する必要があるかもしれない。

【小林良一委員】

- ・それでもよい。写真さえあれば組み込める。

【山岸G長】

- ・事業団体は実績報告もあるため、写真であれば多分撮影している。

【長藤豊委員】

- ・OHPがあれば、実績報告書をそのまま写すことも可能である。

【山岸G長】

- ・ただ、時期的に終わっていないところはある。

【小林良一委員】

- ・総合事務所に提出のあった写真をスライドで出せるようにしておき、後は発表する人が説明するのであればできるのではないか。

【山岸G長】

- ・写真を映すだけであれば、まだ事業が終わっていない団体も用意できると思う。

【小林良一委員】

- ・あまり発表する人の負担になると来年から提案しないということにもなる。

【山岸G長】

- ・市民ホールと記載しているが、委員の出席負担を減らすために、地域協議会の中で委員に報告する場面を一般の人にも公開するという案もある。その場合であれば、市民ホールではなく201・202会議室に傍聴席を多く用意して対応する。

【小林良一委員】

- ・そうなると基本的に少し違う。地域協議会は主になるため、今までどおりでよい。
- ・市民ホールだと一般の人がたくさん来るため、プロジェクターを使えば理解しやす

いと思う。

**【山岸G長】**

・どちらがいいか検討願う。

**【平井達夫委員】**

・あまり先走って市民ホールで実施するのではなく、今年は201・202会議室で去年よりも色を付けて実施することとし、今年の場合によって、次年度以降盛大にやればよい。市民の皆さんが何人来るか分からない。

・立場によって考え方が全然違う。団体の立場も考えなければ、応募が出てなくなる。

**【嘉島班長】**

・去年の形で、今年は勉強会にはしないことで了解した。

**【小林良一委員】**

・一般の人が少し多く入れるようにすればよい。

**【山岸G長】**

・去年と同様に3月の地域協議会の日でよいか。

**【委員】**

・賛成の声多数

**【山岸G長】**

・開催の進行は会長にお願いして、地域協議会の中で行い、一般の人たちも入れるという形でよいか。

**【平井達夫委員】**

・よい。

**【山岸G長】**

・了解した。

・案を作り直して、来週の地域協議会の協議事項としてよいか。

**【平井達夫委員】**

・よい。地域協議会で協議いただかなければならない。

**【嘉島班長】**

・内容についてだが、発表5分は去年と同じだが、質疑応答は2分だったのを1分増

やしたが、今までと同様に2分でよいか。

【小林良一委員】

・そんなに質疑はたくさんなかった。

【平井達夫委員】

・去年のトータル時間はどうだったか。

【嘉島班長】

・予定どおり終わった。

【平井達夫委員】

・延ばさず去年と同様にしておき、延びるのは仕方がない。

【新井清三委員】

・報告が若干延びる可能性もある。

【嘉島班長】

・昨年と同様で了解した。

【平井達夫委員】

・去年の発表団体は何団体だったか。

【嘉島班長】

・団体は14団体だが、3団体が別の日に発表を行ったため11団体である。

【平井達夫委員】

・去年は地域協議会と分けて勉強会で行ったのか。

【山岸G長】

・そうである。

【平井達夫委員】

・今回は地域協議会の中で行うが、3月の協議事項はたくさんあるか。

【山岸G長】

・今のところ諮問事項はないが、小学校の在り方についての協議があると思う。

・活動報告会を協議の1番にすれば、時間があまり変動せず、待たせなくて済む。

【小林良一委員】

・地域協議会を午後5時から行ってもよいと思う。

【山岸G長】

・勤めている方もいるがよいか。

【長藤豊委員】

・去年、勉強会を午後5時から行った時は、団体は来られたのか。

【小林良一委員】

・来られた。

【山岸G長】

・事前に時間を組んだため、時間に合わせてきた団体もあった。

【小林良一委員】

・聞きたい人は最初から聞いていた。

・前は地域協議会を昼間に行ったこともあった。

【長藤豊委員】

・当日は、活動報告会の他にも協議事項はあるのか。

【小林良一委員】

・ある。最初に活動報告会だけ終わらせて、その後、その他の協議事項に入る。

【長藤豊委員】

・その時に傍聴を希望される方は、そのまま残ってもらうのか。

【山岸G長】

・そうである。

・活動報告会を地域協議会の中で行い、一般市民に広く声かけをすれば傍聴は無制限になる。

【小林良一委員】

・通常は10名でなければならぬため、今回だけだということをはっきりしておかなければならない。

【長藤豊委員】

・他の協議事項も大勢に聞いてもらった方がよい協議事項になるのではないか。

【小林良一委員】

・それもあるが、今回はいいが通常は10名としている。

【平井達夫委員】

・その辺をはっきりさせておかなければならない。



**【嘉鳥班長】**

- ・活動報告会だけにしますか。

**【平井達夫委員】**

- ・活動報告会は無制限とし、その他は傍聴10人とはっきりさせた方がよい。

**【長藤豊委員】**

- ・去年も勉強会を午後5時からできたのであれば、午後5時から地域協議会を始めて2時間で一度切って休憩を入れ、それ以降を傍聴10人で行う。

**【山岸G長】**

- ・地域活動支援事業活動報告会を行った後、通常地域協議会を行ってはどうか。

**【委員】**

- ・賛成の声多数

**【長藤豊委員】**

- ・活動報告会は17時から行う。

**【山岸G長】**

- ・了解した。

**【長藤豊委員】**

- ・開催日はいつ頃か。

**【山岸G長】**

- ・日は決めていない。2月の地域協議会は23日の予定である。

**【小林良一委員】**

- ・決めた方がよい。

**【山岸G長】**

- ・3月も23日でどうか。

**【小林良一委員】**

- ・22日か23日を候補にしておけばよい。

**【山岸G長】**

- ・3月22日か23日の17時から報告会を行い、傍聴は無制限で了解した。
- ・報告会だが、勉強会の形で行うため司会は会長となる。

**【小林良一委員】**

- ・会が2つあるため、閉会の挨拶は副会長2人が行うことになる。

**【平井達夫委員】**

- ・報告会は2時間か。

**【嘉島班長】**

- ・約2時間だが、1時間半から2時間となる。

**【山岸G長】**

- ・去年は1時間二十何分で、6時半から地域協議会を始めた。

**【平井達夫委員】**

- ・来られた方に資料は配るのか。

**【山岸G長】**

- ・先般の地域協議会だよりぐらいのA4両面1枚で表題と実績が分かる程度のものか、または去年と同じように1団体A4片面であれば可能である。

**【平井達夫委員】**

- ・アピールするために今回行うので、簡単なものでいいが渡した方がよいと思う。

**【小林良一委員】**

- ・表題と何をやったかと結果報告ぐらいでよい。

**【平井達夫委員】**

- ・あまり細かいのはいらない。
- ・去年は配ったか。

**【嘉島班長】**

- ・去年は配った。

**【樋口主事】**

- ・掲載内容は、事業の概要、内容、事業評価・今後の活動の見通し、事業の収支、写真である。
- ・事業の収支は、3月31日が事業完了予定日の団体があり、まとめ終わっているかは分からない。

**【長藤豊委員】**

- ・事業が終わっていない時に報告会を行うため、事業が終わっていないから提示できないで仕方がないと思う。

**【山岸G長】**

- ・去年と同じ内容にするか、又はもっと簡単に事業名と内容と費用ぐらいにするか。

**【小林良一委員】**

- ・細かい内容が分からないで来るため、どういうことをやったかが分ればよい。
- ・次の人が何を発表するのかが分かれば興味が湧いてくる。自分たちが同じようなことをやるため、聞いておきたいとかもあると思う。

**【平井達夫委員】**

- ・市には最終的な実績報告書は出してもらわないといけませんが、報告会は団体の取り組み発表であり、報告会までにできないものはいいと思う。

**【山岸G長】**

- ・了解した。

**【長藤豊委員】**

- ・資料1－2の「地域協議会委員が提案団体の代表者又は事務担当者の場合は、当該事業の審査から外れます。」の事務担当者は、提案書の担当者の欄に名前が載っている人だと、この間事務局に確認した。
- ・提案書の備考には、「担当者の欄は」と書いてある。事務担当者という表現ではない。

**【新井清三委員】**

- ・提案書には、だいたい代表者の名前しか出てこない。

**【嘉鳥班長】**

- ・会には必ず事務局長のような人はいると思う。

**【長藤豊委員】**

- ・事務という言葉をとって、担当者としてはどうか。
- ・担当者は、提案書の担当者だと説明できるようにしておけばよい。

**【小林良一委員】**

- ・担当責任者としてはどうか。

**【長藤豊委員】**

- ・提案書と合わなくなる。

**【小林良一委員】**

- ・であれば、提案書と合わせて担当者とすればよい。

【山岸G長】

- ・事務という言葉を取り、担当者にすることで了解した。

【長藤豊委員】

- ・平成28年度地域活動支援事業に関するQ&AのQ3-11に「市の組織である消防団は提案することができません。」と書いてあるが、募集要綱には書かれていない。

【山岸G長】

- ・Q&Aを全て載せるという話になるため難しい。

【長藤豊委員】

- ・勘違いするとすれば、消防団くらいか。

【山岸G長】

- ・市の組織は消防団だけではないが、提案することは考えにくい。
- ・市の組織であれば、まず市の予算で対応することになる。

【新井清三委員】

- ・自主防災組織から提案は出てきていないか。

【山岸G長】

- ・昨年、豊原から出てきた。

【長藤豊委員】

- ・今年提案を考えているのだが、この場で確認をさせてもらいたい。
- ・消防小屋のポンプと積載車の引きあげを市にお願いしているが、引きあげた後、全くないのでは防災上不安なため、住民が使えるものを用意したい。
- ・自主防災組織の補助金でやる部分と地域活動支援事業に申請する部分としっかり分けて申請することは可能か。
- ・募集要項には、「他の補助制度と重複して助成を受けようとする事業は対象とはならない」と書いてあるが、どこまでを重複と考えるのか。

【山岸G長】

- ・申請者は誰になるのか。

【長藤豊委員】

- ・大野新田町内会か栗沢町内会になると思う。

【山岸G長】

- ・自主防災組織が調達するものは自主防に関わるものだと思うが、大野新田町内会か栗沢町内会が調達しようと思っているものは何か。

【長藤豊委員】

- ・今あるポンプは4人いないと使えないため、下のランクのポンプである。

【山岸G長】

- ・自主防災組織の補助金30万円では買えないのか。

【長藤豊委員】

- ・去年見積りを取った時は、100万円くらいだった。
- ・自主防災組織は応募できるか。

【小林良一委員】

- ・去年は却下になった。補助金があるため補助金の枠内で実施すべきと判断した。

【新井清三委員】

- ・重複は難しい。

【長藤豊委員】

- ・部落で再度検討する。

【平井達夫委員】

- ・せっかく話が出たので、確認してほしい。

【山岸G長】

- ・自治・地域振興課では、防犯灯のLEDもそうだったが、地域協議会が認めるならよいという回答になり、認めている区と認めていない区がある。板倉区がどうするかということになる。

【長藤豊委員】

- ・板倉区では、防犯灯のLED整備事業は対象としないとしているのは、別に事業があるからか。

【山岸G長】

- ・そうである。去年、相談があり地域協議会で検討した結果、事業が新たにでき、重複するため、補助対象としないこととなった。

【小林良一委員】

・その枠内でなんとかしてほしいという話になった。

【長藤豊委員】

・助成が重複してはだめというのは、単に重複するという意味もあるし、その部分に補助金を出すのであれば他の申請事業に補助金を出してあげようということか。

【山岸G長】

・そうである。

【長藤豊委員】

・それでは、「平成29年度地域活動支援事業採択方針等（案）について」は以上とする。

・次に、「地域活動支援事業に係る課題及び改善策について」事務局の説明を求める。

【樋口主事】

・資料2により説明

【小林良一委員】

・意見を割り振るのは自然の流れではない。疑問があれば質問すると思う。

【山岸G長】

・文書はどうか。

【小林良一委員】

・審査員が半数以上質問するとした場合、前もって質問案件を作っておかなければ出てこない。

【長藤豊委員】

・文書についてだが、「質問がないものに対して無理に質問する必要はない。」は必要ないと思う。

【小林良一委員】

・「質問があるものについては質問が出るため、審査員の半数以上の方が質問意見をするように割り振る必要はないと判断する。」とすれば、きつい言葉にならない。

【委員】

・賛成の声多数

【山岸G長】

・了解した。

・下の文書はどうか。

**【長藤豊委員】**

- ・「若い」は、必要ないと思う。
- ・キーパーソンの不足は、板倉まちづくり振興会の課題になるのか。

**【小林良一委員】**

- ・本来なら各連絡協議会や町内会等で、ある程度検討すべき問題である。

**【平井達夫委員】**

- ・板倉まちづくり振興会という名前はどこから出てきたのか。

**【山岸G長】**

- ・前回の地域活動支援事業審査基準検討部会で出た言葉である。

**【小林良一委員】**

- ・まちづくり振興会でキーパーソンの集約や育成をしていくことは今の体制では無理である。そういう組織ではない。
- ・フォーラムであれば、まちづくり振興会は毎年1回行っているため、開催はできると思う。

**【山岸G長】**

- ・回答は、「キーパーソンの不足について、板倉まちづくり振興会にフォーラム等の開催を要請する。」という感じでよいか。

**【小林良一委員】**

- ・そのぐらいであれば、何とかなると思う。
- ・キーパーソンを作るのは大変な話である。

**【山岸G長】**

- ・文書の確認をお願いします。

**【小林良一委員】**

- ・若いキーパーソンの不足というよりは、意識高揚である。代表となる人に対してのフォーラムである。
- ・まちづくり振興会の会長の意見も聞かずに、地域協議会でまちづくり振興会がという発言はできない。まちづくり振興会と提携してフォーラムを開催してはどうか、という程度にした方がよい。

**【長藤豊委員】**

- ・「キーパーソンの不足は、地域全体の課題であるため、板倉まちづくり振興会と協力して」としてはどうか。

**【山岸G長】**

- ・「フォーラム等の開催を検討する。」でよいか。

**【小林良一委員】**

- ・まちづくり振興会に打診もしておらず決定ではないため、「検討する」でよい。

**【山岸G長】**

- ・「キーパーソンの不足は、地域全体の課題であるため、板倉まちづくり振興会と協力してフォーラム等の開催を検討する。」でよいか。

**【委員】**

- ・賛成の声多数

**【山岸G長】**

- ・了解した。
- ・修正後の資料は当日配布となるがよいか。

**【委員】**

- ・「よい」の声多数

**【山岸G長】**

- ・地域協議会の中で検討結果の報告をお願いする。

**【長藤豊委員】**

- ・「地域活動支援事業に係る課題及び改善策について」は以上とし、地域活動支援事業審査基準検討部会を閉会する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所総務・地域振興グループ TEL0255-78-2141（内線 123）

E-mail : itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。